

平成27年度事業報告書

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

1. 会議に関する事項

(1) 通常総会の開催

平成27年5月15日(木) 大阪市阿倍野区阿部野橋 1-1-43「大阪マリ
オートホテル」において開催され、全議案について審議議決した。

(議案)

- 第1号議案 平成26年度事業報告承認の件
- 第2号議案 平成26年度収支決算報告承認の件
- 第3号議案 平成26年度監査報告の件
- 第4号議案 平成27年度事業計画承認の件
- 第5号議案 平成27年度収支予算案承認の件
- 第6号議案 平成26年度公益目的支出計画実施報告書承認の件
- 第7号議案 その他

(2) 理事会の開催

開催回数	開催年月日及び場所	出席者数	議案	議決の結果
1	27年5月13日	書面	1. H26年度決算報告書の承認 2. H26年度公益目的支出計画実施報告書案の承認	可決 可決
6	28年3月16日 名鉄ニューグランドホテル	9人	1. H27年度事業概況報告及びについて 2. H27年度収支決算見込みについて 3. H28年度事業計画案及び収支予算案 4. H28年度通常総会開催の日時及び開催場所について 5. 総会までの間の工業会経費暫定支出について 6. 新役員の選任について	可決 可決 可決 可決 可決 可決

2. 事業の実施状況

(1) 工業会の運営に関する件

(i) 会員の退会・入会

入退会：無し

正会員 13社、賛助会員 7社 計 20社

※代表者変更 春日井化工(株)代表取締役社長 畑慶彦氏に変更。

リンナイ(株)生産技術部部長 堀田庄三氏に変更。

(ii) 公益目的支出計画の実施

①H27年6月15日 H26年度公益目的支出計画実施報告書並びに実施完了確認請求の申請を実施。

②H27年8月31日 内閣府より実施完了の確認書が届き、公益目的支出計画完了した。

(2) 技術技能の向上に関する事項

(i) 技術講演会の開催

(公社)日本セラミックス協会珪瑯部会と共同して、平成27年11月6日(金)に都立産業技術研究センターにて技術講演会と見学会を開催した。

(講演会演題)

- ◇ 耐爪飛び性能評価方法の改良 都立産技研センター 吉野 徹
- ◇ 都産技研の3Dデジタルものづくり支援 都立産技研センター 藤巻研吾氏
- ◇ 国際ほうろう会議報告 トマテック(株) 桑江真一氏
- ◇ ほう素・ふっ素排水処理設備について (株)メホ-エンジニアリング 梅田 敦氏

(ii) 珪瑯部会幹事会の開催

開催回数	開催年月日及び場所	出席者数	議 題
1	H27年4月15日 半田市市民国流センター(愛知)	9人	(1)平成26年度事業報告、決算報告 (2)陶磁器部会講演会共催について (3)平成27年度技術講習会の打ち合わせ (4)セラミックス50巻出版記念誌のほうろう50年原稿
2	H27年6月5日 中小企業振興会館(名古屋)	7人	(1)珪瑯部会技術講習会に関する打ち合わせ (2)テクニカルアドバイザー制度について (3)ISOについて (4)陶磁器部会との交流について
3	27年7月22日 都立産業貿易センター(東京)	7人	(1)珪瑯部会技術講習会最終打ち合わせ (2)セラ協2016年年会について

(iii) ISO規格国内委員の活動

- ① ほうろう部門 (TC107/WG2) は東罐マテリアルテクノロジー(株)フリット事業部 城野喜広課長を委員長として、ISO規格の国内検討を実施(主に電子投票)。
- ② ISO規格検討専門委員会への出席。(開催日: H27年4月21日、11月9日、12月15日、H28年1月7日)
※H29年1月に千葉県柏市にてISO/TC107 総会開催が決定した。

(3) 環境対策

ほう素・ふっ素暫定排水基準の期限がH28年6月末で切れるため、その後の暫定措置について対応した。

◇ フォローアップ調査(業界団体用、個別事業者用)

調査票提出 平成27年8月10日~8月26日

◇ 暫定排水対象業種による説明会(プレゼン)

H27年8月10日 建設技術研究所にて、3事業者参加のもとプレゼン実施。

◇ 平成27年度 第1回排水処理技術検討会

年月日 平成27年9月7日

場 所 建設技術研究所 会議室

議 題 28年7月以降の暫定排水基準適用に関して業界ヒアリング

※3事業者並びに事務局がヒアリングに出席

◇ 平成28年7月からの暫定排出基準をB:40ppm、F:12ppmとして延長を希望した。
委員からの指摘事項はピーク濃度を下げてH31年に一律基準達成が目標。

(4) 技術委員会活動報告

(i) JIS改正委員会について

JISR4301規格改正の活動は、H27年8月19日に経済産業省(JISC)による金属・無機材料技術専門委員会の審議があり。委員会で指摘された事項について修正書類を提出。H27年12月21日付けでJISR4301:2015年改訂版の公示と規格票が発行された。

(ii) 都立産業技術研究センターへの技術相談について

爪飛び不良対策に関する技術相談を継続中。

※ 爪飛び対策が環境技術グループ吉野研究員のH27年度研究テーマとなり、研究材料(釉薬、鋼板等)について協力している。

(iii) ほうろう加工技能検定準備活動について

中央職業能力開発協会主催のほうろう加工技能検定試験がH19年廃止されて以降ほうろう加工技能継承が問題となっており、その復活を望むところから、日本

第1号議案

珙瑯工業会主催のほうろう加工技能認定制度の検討を行うことになり、準備会議が下記の様に開催された。

- ①H27年7月15日 第1回準備委員会開催 珙瑯工業会事務所
- ②H27年10月2日 第2回準備委員会開催 珙瑯工業会事務所
- ③H27年12月14日 第3回準備委員会開催 珙瑯工業会事務所
- ④H27年3月22日 第1回実行委員会開催 珙瑯工業会事務所

(5) 安全対策事業

(i) 器物部会関連

◇ 平成27年4月24日 工業会事務所にて開催。

討議事項

- a) IH認定試験実施について
- b) ほうろうパンフレットに関して
- c) ロシアでの展示会情報 (BHBより説明)
- d) 今後の器物部会について (新規会員、認定規格)

※ほうろうパンフレットについて

H27年3月に完成。3000部製作し、珙瑯工業会分2000部、東部珙瑯協同組合分1000部として、5月中旬に各会委員に配布した。

(ii) IH認定マーク基準認証試験

器物製造4会員(野田珙瑯、富士珙瑯、日東エナメル、阪和ホーロー)の製品試験を実施。試験は日用金属検査センター、瀬戸窯業技術試験所に委託。結果に基づき各社と認可契約を取り交わした。

(6) 消費者対策

消費者、消費者センターからの相談、事業者からの相談、メーカー紹介等の問い合わせに対応した。平成27年4月~平成28年3月までに47件の問い合わせを受け対応した。

(7) 情報サービス

- ◇ ほうろう鉄器出荷統計、鋳物ほうろう浴槽出荷統計のまとめと関係先への配布。並びにほうろう部品に関係する燃焼機器出荷統計のまとめを関係先に配布。
- ◇ 工業会の情報開示のホームページ更新。お知らせ覧での情報提供により珙瑯の普及、啓発に努めた。HP閲覧アクセス数 3,000~4,000件/月です。

(8) 関連業界との交流

関連業界との連絡協調を図るべく、ガラス、陶磁器、ガス、石油機器、アルミ製品、

第1号議案

ステンレス製品等の業界で組織する、日用品工業団体協議会並びに全国中小企業団体中央会の研修会、講演会に参加。また、キッチンメーカー、浴槽メーカー等で組織されるキッチンバス工業会の行事（台所・お風呂の川柳：平成27年11月2日表彰式）に参加することでほうろう製品の普及を図った。

以上